

CONTENTS

● 第17回 NAMM ビジネスツアー報告	1 ~ 4
● Web MIDI WG 報告	5
● MIDI 検定試験実施結果報告	6
● 著作権・ソフト委員会報告	7
● AMEI 会員名簿・MIDI 検定指導者認定講座実施のお知らせ	8

第17回NAMMビジネスツアー AMEI/MMA会議報告



今年は2014年1月23日から1月26日の開催期間で、2014NAMM SHOWが米カリフォルニア州アナハイム・コンベンションセンターで開催されました。NAMMの発表では、今回の入場登録者数は、96,129人と、今年は前年(93,908人)を上回り、総出展者数も1533社(新規出展社303社)と去年の1,500社(新規出展社289社)を上回り、引き続き回復の兆しを感じられるショーとなりました。

また、今年からNAMMの管理体制がかなり変り、運営についても外部への委託業務が増えたとの事で、初日のおじいちゃん・おばあちゃんのバンドによるオープニングパレードが見られなくなったり、最終日の一般客(特に子供たち)が減少する等、イベントというよりビジネスショーとしての位置付けをより明確に感じたショーとなりました。電子楽器のエリアは、昨年に引き続き各社の特徴をより進化させたアナログモデリングシンセの展示が注目を集め、昨年多く出展されていたiPadをコントローラーやインターフェイスとしたソフト・ハード楽器から、iPadをコントロールするMIDIコントローラがいろいろな形態で、手軽に楽しめるガジェットとして人気を集めていました。

MIDI規格委員会主催の第17回NAMMビジネスツアーもNAMMショー及びMMA総会の日程に合わせ、1月22日出発～1月28日帰国のスケジュールで、各社のご協力により12名の参加協力を得て実施することができました。

NAMM ビジネスツアー

今年のNAMM ビジネスツアーは、12名の参加メンバーを得て開催することができました。今年はMIDI規格委員会技術研究部会長の日程が合わず1日遅れとなりましたが、各メンバーとも多忙な中、全員が一緒に写真に収まることができました。成田空港にて参加メンバーには各自搭乗手続きを済ませていただき、HISさんのサポートにより成田空港第1ターミナル5Fの待合室を手配頂き、全体日程及び各自の行動予定について確認・情報交換を行い、恒例の記念撮影の後、シンガポール航空SQ012便にて1月22日PM6時50分定刻どおり、成田空港を一路ロサンゼルスへ向け出発しました。

今年もほぼ定刻にロサンゼルス空港に到着、ちょっとトラブル（後述）もありましたがHIS手配の現地スタッフのおかげで、昼前にはチャーターしたバスに乗り込むことが出来ました。今回はまずウォルト・ディズニー・コンサートホールへ向いました。ロサンゼルス市内にあるこのウォルト・ディズニー・コンサートホールは2003年10月完成、設計はフランク・ゲーリー、音響はサントリールホールなども手がけ



た豊田泰久が担当した、概観も内装も極めて特徴のあるコンサートホールです。残念ながらメインホールに入る事は出来なかったのですが、不思議な概観を堪能しました。その後は昼食を兼ねてファーマーズ・マーケット、ロサンゼルスギターセンター、ドルビー・シアター、チャイニーズシアターと定番のコースではありますが、アナハイムへ行く途中で立ち寄るには一番都合の良いルートで、夕方6時過ぎにはアナハイム ディズニー パラダイス ビア ホテルへ到着しました。

海外出張ビギナーの私が NAMM ビジネスツアーを勧める3つの理由

ヤマハ株式会社 研究開発統括部 四童子 広臣

今回幸運にもツアーに参加させていただきました。数年ぶり二度目の海外出張。当初は期待よりも不安の方が強かったのですが、実り多い視察となりました。このツアーでよかった、助かったと思うシーンが多々ありましたので、感謝の意を込めて、3点紹介させていただきます。

1. ホテル・航空券・NAMM show入場バッジは手配済み

海外出張ビギナーの私にとって、ホテルと航空機チケットを手配することは、心理的なハードルが高いです。更に、入場バッジは楽器業界関係者等でないと入手できないと公式ページに記載があり、直接問い合わせをすればよいのだろうか、と要らぬ心配をしていました。このツアーに参加することになり、移動・宿泊・入場に関する物をご用意いただけましたので、その他準備に注力することができました。

2. 現地アテンドがつく

トラブルを100%回避するというのは難しい問題ですが、トラブルを最小限に出来るか否かは現地でサポートしてくれるアテンドさん次第だと思います。

実は私、行きの移動の際、機内預けしたスーツケースが壊されてしまう、というトラブルに合っていました。ガイドにある通り、空港でクレームを入れ、破損証明書は入手できました。しかし問題はその後にも続きました。というのも、数時間以内に空港スタッフから入るはずの連絡は、ありませんでした。仕方ないのでこちらから連絡を取り、帰りは航空会社が用意した段ボールに荷物を詰め輸送することになりました。

したが、当日現地へ行くと段ボールは用意されていませんでした。そういった場合の対応方法なんてガイドに書いてあるわけはなく、一人だと対応に困ったと思います。しかし今回は、アテンドさんがこちらの要求を理解し、クレームを入れてくれたおかげで、トラブルは最小限で済みました。私の荷物（とおみやげ）を空港に捨てて帰らなくて済んだのは、アテンドさんのおかげです！！

3. 経験豊富な方々に話を聞ける

NAMM show は想像した以上に賑わっていました。去年の様子や今年の事前情報を通じ予習をしたつもりでしたが、実際に現地に行くと、規模の大きさや、媒体からは伝わらなかった盛り上がり、圧倒されました。「ここには自分の想像力を膨らませる新しい何かがある。絶対に見つけてやる」という意欲が湧きました。とはいえ、闇雲に調査を進めては4日という期限内で見つけられるとは思いませんでした。そういった中、経験豊富な方々に相談できたことは、とても有難かったです。視察の目的を相談したところ、「ここにいけばありそうだよ」「このブースで見たよ」といった情報をいただくことができ、視察を有意義なものにすることができました。

まとめ

このNAMM ビジネスツアーは、上記のようなサポートが得られますので、初めてNAMM に行く者にとって、大変安心できる企画だと思います。参加させて頂きありがとうございました。

AMEI/MMA ミーティング報告

MIDI 規格委員会委員長 飛河 和生

日時：2014 年 1 月 25 日

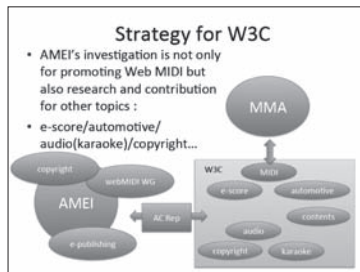
場所：マリオットホテル Suite 315 is a hotel room
converted to a meeting room

1. WebMIDI API について

MIDI 規格委員長より AMEI の戦略と要請事項のプレゼンを行い、AMEI の W3C での WebMIDI プロモーション活動の状況説明を行った。W3C の代表窓口は AMEI から MIDI 規格委員長が務めることで合意した。結果、現状のまま、AMEI が会費を払い、AMEI が代表窓口の ACrep となることで合意した。下記の AMEI 提案による戦略について合意 WebMIDI WG のキャラクター「みでゃっぴー」を MMA 出席者全員に配布した。全員大喜びで、日本のキャラクターによるプロモーションに関心が集まった。

また、電子楽譜について複数の規格団体から AMEI に標準化提案があったことを伝えた。

Music XML を含む電子楽譜について MMA から、標準化は外部ではなく、AMEI/MMA で規格を作るべきであるとの話があり、これに合意した。



2. 中国での Trademark Protection の状況

中国企業による MIDI 商標登録が無効であるとして、AMEI/MMA の双方より中国当局に対して商標登録無効審査請求を行ってきた。

その結果、中国の CMIA による要請に基づき、昨年 5 月に無効との審判が出た。その後、中国企業からの異議申立が期限までに行われなかった。今は正式の中国政府のステートメントを待っている状態。中国で MIDI の存在をもっと企業やユーザに知ってもらふ必要があるため、MIDI をもっと中国でプロモーションすべきであるとの意見が出た。AMEI/MMA による商標登録は今後も継続審議を行う。

3. IEC MIDI 国際標準化について

IEC と MMA 間の契約内容の課題が残っている。IEC CEO と MMA CEO の間で弁護士を交えてカンファレンスコールが行われ、最後の詰めを行っている段階。MMA に契約をまとめていただき、早ければ今年の 5 月 21 - 22 日に行われるシアトル会議か、遅くとも今年の秋に行われる東京会議までに標準化作業を開始させたい。

4. テクニカルアイテムについて

MIDI Electrical Spec Update について、MIDI 送受信時の 3.3V 対応の RP 案がまとまり、MMA で Voting が行われ、可決された。

その他、Bluetooth LE を用いて MIDI を転送する実験結果の紹介や、各種 OS に対応する技術、AVB 規格に関する提案、HD プロトコルの進捗に関する紹介があった。

MMA 総会への参加

日時：2014 年 1 月 26 日

場所：マリオットホテル 1 階カンファレンスルーム

1. General Session (MMA 活動報告)

- 30th Anniversary of MIDI
- MIDI in China
- WebMIDI API
- OS Partnerships
- IEC MIDI
- DigitalSheetMusic (e-Score)
- 3.3VMIDI (Updated MIDI Electrical Spec)
- HD Protocol
- Bluetooth LE
- MIDI for AVBTP (or AVTP) (or TSS)
- CES Exhibit
- NAMM Exhibit

について報告があった。

2. Technical Session

- Item #202 : MIDI Electrical Spec Update に関して Voting が行われ、可決した。
- AVB, HD, USB における MIDI について Technical Standards Board メンバーより報告があった。また、AMEI から Bluetooth LE for MIDI について、プレゼンを行った。
- AVB, HD, USB における MIDI について Technical Standards Board メンバーより報告があった。
- WebMIDIWG について MIDI 規格委員会 WebMIDIWG の多田 WG 長及び河合委員よりプレゼンを行った。また、2014 年 1 月 27 日 Marriott Grand Ballroom B にて HD Meeting を実施。AMEI からは MIDI 規格委員会技術研究部会 柿下部会長が参加した。



AMEI/MMA
マネージメントミーティング



MMA 総会



MMA 総会にてプレゼンを行う
MIDI 規格委員会
技術研究部会 柿下部会長



MMA 総会にてプレゼンを行う
MIDI 規格委員会
水本副委員長



MMA 総会にてプレゼンを行う
MIDI 規格委員会
WebMIDIWG 多田リーダー



MMA 総会にてプレゼンを行う
MIDI 規格委員会
WebMIDIWG 河合委員

AMEI NAMM ツアーに参加して

株式会社 KORG 開発 3 部 DD グループ 青木 秀明

初めての NAMM

Show 視察ということと事前準備が不十分だったため、不安な状況でのツアー参加となったのですが、ツアー担当の方が空港・ホテル間の移動やホテルのチェックインから NAMM の入場まで全ての手配をしてくださったお陰で Show 視察に集中することができ、とても有意義な時間を過ごす事ができました。また、ツアーに参加させていただいたお陰で、団結式やバスでの移動中、Show の最中や夕食・飲み会等さまざまな機会に他社のツアー参加者と話をさせて頂く機会に恵まれ、Show に出ている楽器や面白いパフォーマンス等の情報交換をさせていただけた事で、一人ではとても全てを網羅する事が難しい会場をポイントを押さえて効率よく見て回ることが出来たので非常に助かりました。NAMMShow の視察については、まずその規模の大きさや人の多さに圧倒されました。広大な会場に大量の電子・アコースティック楽器が置いてあり、世界中の楽器が集まっている印象を受けました。パンジョやダルシマーが多数展示してあった所に少し USA を感じました。また、有名ミュージシャンが至る所で試奏したり談笑しているのを見かけ、注目度の高さを改めて感じると共に、会場に響くとても心地よいサウンドを楽しむ事ができました。

ソフトウェア系の出店が少なかったのが残念でしたが、日本では入手が難しくなかなか触れることが出来ないメー

カーが多数出店しており、気になっていた製品に触ったり説明員から使い方やアピールポイントを説明してもらうことができて、スペックでは知り得ない実際の操作感や特徴を把握することが出来たことは大きな成果でした。会場を見回るに当たって、主催者から提供されているスマートフォン向けの専用アプリが MAP や展示一覧のみならず、スケジュール管理やイベント情報、訪問したブースのチェックが出来たりと大変重宝するものでした。限られた時間を効率よく使うために今後の参加者には是非活用していただければと思います。

会場に FreeWi-Fi があり実際に使用することも出来たのですが、残念ながら会場内ではほとんど使うことが出来ないため、海外用 Wi-Fi をレンタルして行くことをオススメします。

NAMMShow 視察の他に、ツアーではディズニー・コンサート・ホールやドルビー・シアターといったロサンゼルス観光に連れて行って頂いたり、ギター・センター視察をさせて頂きました。特にギター・センターではその規模の大きさもそうなのですが、楽器の展示方法や取り扱っているメーカーの違いに驚きました。販売員の方と色々話が出来たのですが、とてもフレンドリーで接客方法の違いを体感するとともに、アメリカの市場について知ることが出来ました。ビジネスツアーは初めて NAMMShow に参加する人にとっては Show 視察に集中出来るようサポートしていただけましたし、何より他社の方々と触れ合う機会でもありますので、今後もぜひとも続けていって頂ければと思います。参加させていただきまして、誠にありがとうございました。

初めての NAMM Show と海外出張

ヤマハ株式会社 研究開発統括部 第 3 研究開発部 野見山 洋子

今回、初めて NAMM Show と海外出張を経験し、どうやって Show を見学すれば良いのか、会話は大丈夫か等、不安な気持ちで出発しました。しかし、成田空港から AMEI のツアーの方々と合流し、出入国、ホテルのチェックイン、会場までの移動を案内いただき、Show の様子や注意点も伺えたので、無事に出張をすることができました。

初日はロサンゼルス観光に連れて行っていただき、ギター・センター（楽器店）を視察しました。バンド系の楽器がほとんどで、クラシック系の楽器はないのですが、日本の楽器店よりも広く、品揃えも多かったです。また、店員が客に話しかけることはほとんどなく、自由に試奏できる雰囲気でした。日本では楽器を選ぶ際に店員が付きっきりになりがちで、数点試奏すると客が申し訳なく感じのですが、自由に納得できるまで選べるのはとても良いことだと思いました。

2 日目からはいよいよ NAMM Show です。ツアーの日程が良く移動の疲れがなかったため、精力的に動き回ることができました。会場は地上 3 階＋地下 1 階と非常に広いので、Show 専用携帯アプリの楽器検索やメーカー検索機能がとても役立ちました。まずは全体の様子を知ろうと一通り歩き回ってみると、今まで見たことのない楽器や「こういう機能欲しかったよね！」と思う技術があり、日本の一般的な楽器店では触れることのないものに触れることができました。また、楽器別の展示規模を見ますと、ギター

やドラム関連の製品が多いことに気づきました。最終日に営業のメンバーと回ったキリスト教教会（ツアーではないのですが）で知ったのですが、集会で讃美歌を歌う際の伴奏がバンドの生演奏だったのです。自分のイメージはオルガン演奏だったので大変驚きました。そして、この文化がアメリカでバンド系楽器が良く売れる背景の一つなのだと納得しました。

次に、ギターについて詳しく見ました。外形をはじめブリッジのような部品に至るまで多種多様であり、各メーカーの音質や演奏性向上のための工夫が感じられ大変興味深かったです。また、ギターがクラシックギター、エレキギターのように数種類の方向に発展していることや、使用されている木材の種類が多いこと、新素材の CFRP 製が増えつつあることから、新技術をユーザーに受け入れられやすい楽器という印象を受けました。

普段の業務では市場を知る機会がほとんどなかったのですが、今回の出張で楽器市場の構成やアメリカの文化を体感し、各楽器のユーザー層や使用目的を知ることができました。そこから、ユーザーの姿を具体的に想像しながら開発目的を考えられるようになり、自分の視点を広げることにつながりました。また、今まであまり縁のなかったギターについて学び、ユーザーの新しいものへの柔軟性や他社の技術を知ること、ますます良いギターを作りたいとモチベーションの向上にもつながりました。

今回このような有意義な経験をできたのは、AMEI のツアーで経験豊富な方に引率していただき、Show や現地視察に安心して集中できたからです。参加させていただき大変良かったです。ありがとうございました。





「Web MIDI WG 活動報告」

Web MIDI WG リーダー 多田 幸生

2013年7月、Web の世界における MIDI の活用推進を主な目的として、技術研究部会の傘下に Web MIDI WG を設立致しました。本 WG の昨年秋から現在にかけての活動状況をご報告させていただきます。

◆ W3C 加入と TPAC・日本会員会議への参加

本 WG の活動を進めるにあたっては、Web MIDI API の標準化を進めている W3C (World Wide Web Consortium、Web技術の国際標準化団体) との連携が欠かせません。

2013年11月、W3C との関係を深めることを目的として AMEI として正式に W3C に加入することができました。加入にあたっては、PatentPolicy への対応や MMA とのやりとりなど、事務局の皆様をはじめ関係各位には大変な御尽力を頂きました。この場を借りてお礼申しあげます。

W3C 加入後、以下の2つの大きなイベントに参加いたしました。

(1) TPAC (W3C Technical Plenary / Advisory Committee Meetings Week)

TPACとは W3C が1年に1回開催している国際会議で、W3C 参加会員の多くが一同に介して議論を行います。昨年の TPAC は 2013年11月に中国の深圳にて5日間開催されました。本 WG からは2名が中国に赴き、W3C のメンバーに広く MIDI を紹介することを目的として、"Entertain Web with Musical Instruments"というタイトルで1時間のセッションを開催しました。

残念ながら、W3C メンバーにおける MIDI の認知度はまだまだ低いのが現状です。このような活動を通じて MIDI が Web と繋がることの有用性をアピールし、Web MIDI API の早期普及につなげたいと考えます。

(2) W3C 日本会員会議

TPACの約1ヶ月後の12月17日、W3C に参加している日本の会員が情報交換を行う日本会員会議が慶応大学三田キャンパスにて開催されました。本 WG からは、会議の参加者全員に対して Web MIDI APIを紹介するプレゼンテーションを行うと共に、会議の後で開催された懇親会にて他団体の会員の方々と情報交換を行いました。他団体の方々からは、音楽という新しい分野を Web の世界に持ち込んだことに対して賛辞の言葉を頂くと共に、サイネージへの MIDI の応用や電子楽譜フォーマットの国際標準化に関するご意見を頂くなど、新しい角度からの知見を得ることができました。

◆ 第2回 Web Music ハッカソンへの協賛

2013年10月に開催された第1回に続き、今年1月、第2回 Web Music ハッカソンが六本木ヒルズの Google Japan にて開催され、本 WG は、第1回同様協賛としてハッカソンに使用する MIDI 機器の貸出を行いました。

ハッカソンへの参加者は30名を超え、すっかりイベントとして定着した感があります。また、予め自分で開発したハードウェアを持参するなど意識の高い参加者も多く、前回に引き続き大変盛り上がったイベントとなりました。

第2回の優勝作品は「Googleスプレッドシートをシーケンサにする」という斬新なアイデアを具現化したアプリケーションでした。今後も同様のイベントを開催し、Web 開発者コミュニティを盛り上げていきたいと思います。

◆ FaceBookPage開設

本WGから一般の方々への情報発信の手段として、Web MIDI WGの FaceBookPage を開設致しました。<<https://www.facebook.com/AMEI.WebMIDI>>

この FaceBookPage を通じて、定期的に Web や MIDI に関連した話題を一般の方々に対して発信していきたいと考えております。もしよろしければ、是非「いいね!」して下さいますようお願いいたします。

◆ 今後の目標

最終的な目標は、今後大きな発展の見込める Web 業界と音楽電子事業を結びつけ、新たな MIDI の可能性やビジネスチャンスを得る事ですが、そのためのステップとして Web MIDI API の国際標準化(W3C勧告)は是非とも実現したい目標の一つです。残念ながら現時点では Web MIDI API 標準化のための大きなハードルの一つである「2つ以上のWebブラウザにその機能が実装されていること」という条件を満たせておらず、標準化のプロセスが進んでいないのが現状です。

これまでに築いてきた W3C などの人脈をフルに活用し、ハッカソンなどの事例を上手くアピールすることで、様々な Web ブラウザへの Web MIDI API 実装を開発者コミュニティに呼びかけ、Web MIDI API の普及に努めたいと考えております。



Web MIDI WG が TPAC にておこなったセッション



TPAC が開催された深圳の会場の様子



第2回 Web Music ハッカソンの様子



第2回 Web Music ハッカソン優勝者のプレゼン



AMEI Web MIDI WG の FaceBookPage



MIDI 検定試験実施結果報告

主催：一般社団法人音楽電子事業協会
協力：一般社団法人日本シンセサイザープログラマー協会

平成 25 年度 MIDI 検定試験は、4 月に合格者を発表した 2 級 2 次試験を終えて一通りの試験認定を無事に終了しました。スケジュールや試験範囲の大幅な変更を前年度までに終了し、本年度は新しい体制での 2 年目の試験になります。

本年度の MIDI 検定試験は、最上位グレードである 1 級試験において課題曲に JAZZ が出題されました。JAZZ 特有のスイング感を MIDI データでどのように表現するのかなど、受験者にとっても学ぶべき点の多い試験になったのではないかと思います。

MIDI 検定のように譜面に忠実に入力する事を採点する試験においては、JAZZ のように表現方法に関して自由度の高い楽曲を課題曲にすると、スイングのはね具合などをどのように正解としていくかなど、採点基準を明確にするのが非常に難しく検定試験としての現実性を考慮してそういった楽曲は今まで避けてきた部分でもあります。

しかし、1 級の採点基準を構築するに迫り、ある程度そういった音楽性までもカバーして試験運営が行える採点基準を構築していたため、大きな混乱も無く試験を行うことが出来ました。そういった意味では、試験運営側もひとつ大きな課題を乗り越えることができたとも言えます。

初めてスイングというリズムを打ち込んだという受験者も多く、中には「とても勉強になりました」というコメントを書いていた方もいました。

2 級 3 級に関しては、例年通り 12 月に筆記試験を実施しま



MIDI 検定 2 級 2 次試験の試験風景

した。また、1 級試験のように実際に MIDI データで楽曲を作成する課題を提出する 2 級 2 次試験も今年の 2 月に行っています。2 級 2 次試験の課題提出は、10 ～ 12 小節、5 パート程度の楽曲をすべて MIDI データで構築して提出するのですが、一つも間違わずに入力された方もおり、将来の MIDI データ制作者や指導者として活躍していただける人材が確実に育っているという点に期待を持っています。

時代の流れによって、MIDI を中心とした音楽制作の手法も様々な形で変化しております。そのような中で MIDI 検定事業も少しずつではありますが指導内容や運営方法を変化させてきました。今後も常に検討を続けて次世代の音楽制作環境に適応した音楽教育の一つとして進化できればと考えております。

全国協力校・協力団体 試験会場

MIDI 検定 3 級及び 2 級 1 次試験の実施につきましては、下記の学校、団体に会場提供等のご協力を頂きました

【北海道・東北エリア】

ヤマハ札幌センター・札幌琴似工業高等学校・学校法人 日本コンピュータ学園東北電子専門学校

【関東エリア】

代官山音楽院・日本工学院専門学校・学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校・国立音楽院・学校法人杉山学園 専門学校横浜ミュージックスクール・ヤマハエレクトーンシティ渋谷・トート音楽院 渋谷・アーツカレッジヨコハマ・日本工学院八王子専門学校・日本電子専門学校・音楽学校 メーザー・ハウス・専門学校東京ビジュアルアーツ・専門学校 ESP エンタテインメント

【中部・近畿エリア】

学校法人大阪創都学園 キャットミュージックカレッジ 専門学校・JEUIGA 京都音楽院・コンピューターミュージッククラブ Dee・トート音楽院梅田・専門学校静岡岡子情報カレッジ・専門学校 名古屋ビジュアルアーツ・名古屋文理大学・金沢科学技術専門学校・リュウケイミュージック ネット

【中国・四国・九州エリア】

広島工業大学専門学校・広島コンピュータ専門学校・専門学校九州ビジュアルアーツ・学校法人原田学園 鹿児島キャリアデザイン専門学校・Oita Sound Creator 協会

MIDI 検定試験結果の推移（国内）

		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	累計
3 級	実施日	第 10 回	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	第 15 回	第 16 回	
		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	
		12/2	12/7	12/6	12/5	12/4	12/2	12/1	
	受験者数	1051	930	797	760	575	590	514	23394
	(内学校)	526	512	439	385	256	312	298	11663
2 級 1 次	合格者数	729	627	504	465	370	339	261	16020
	合格率	69.36%	67.42%	63.24%	61.18%	64.35%	57.46%	50.78%	68.48%
	実施日	第 9 回	第 10 回	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	第 15 回	
		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	
		12/2	12/7	12/6	12/5	12/4	12/2	12/1	
2 級 2 次	受験者数	247	265	172	150	161	134	124	5415
	合格者数	162	187	87	79	109	84	30	2622
	合格率	65.59%	70.57%	50.58%	52.67%	67.70%	62.69%	24.19%	48.42%
	実施日	第 9 回	第 10 回	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	第 15 回	
		2008	2009	2010	2011	2011	2012	2013	
1 級		2/16	2/14 ~ 15 2/21 ~ 22 2/28 ~ 3/1	2/20 ~ 21 2/27 ~ 28	2/19 ~ 20 2/26 ~ 27	2/18 ~ 19 2/25 ~ 26	2/16 ~ 17	2/22 ~ 24	
	受験者数	173	165	99	76	88	74	45	3172
	合格者数	135	109	77	48	57	41	21	1145
	合格率	78.03%	66.06%	77.78%	63.16%	64.77%	55.41%	46.67%	36.10%
	実施日			第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	
国内受験者合計				2010	2011	2012	2012	2013	
				1/15 ~ 25	1/14 ~ 24	1/20 ~ 30	8/10 ~ 20	8/9 ~ 19	
	受験者数			153	76	46	45	43	363
	合格者数			43	17	19	11	9	100
	合格率			28.10%	22.37%	41.30%	24.44%	20.93%	27.55%
国内受験者合計		1471	1360	1221	1062	870	843	726	32344

中国 MIDI 検定 3 級試験の推移

級	内 容	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	累計
3 級	実施日	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	
		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	
		12/2	12/7	12/6	12/5	12/4	12/16	12/1	
	試験会場	北京 瀋陽 杭州 無錫 成都	北京 天津 瀋陽 杭州 無錫 成都 青島	北京 天津 瀋陽 杭州 無錫 成都 青島	北京 上海 南京 杭州 広西	北京 上海 南京 杭州 瀋陽 青島	上海 南京	北京 上海 瀋陽 福州 南京 成都 重慶	
	(全国 5 会場)	(全国 7 会場)	(全国 7 会場)	(全国 5 会場)	(全国 6 会場)	(全国 2 会場)	(全国 7 会場)		
3 級	受験者数	128	119	103	177	242	80	243	1600
	合格者数	123	94	89	103	229	70	240	1387
	合格率	96.09%	78.99%	86.41%	58.19%	94.63%	87.50%	98.77%	86.69%

音楽配信流通事業における 公平な課税適用を求めるフォーラム

一般社団法人音楽電子事業協会 専務理事 岩崎 修三

電子書籍、音楽、映像等のインターネットを通じて配信されるデジタルコンテンツ。これらのサービスに対し国内事業者から購入する場合は消費税が課税される一方、海外事業者から購入する場合は「国外取引」として課税されない不公平が生じています。

この問題については2012年より財務省「国境の役務の提供に対する消費税の課税の在り方に関する研究会」にて検討されていましたが衆議院解散・政権交替の影響もあり中間報告書が公表されずに終了してしまいました。

その後、書籍出版関連団体が中心となり政府、行政に働きかけをしていましたが平成26年度の税制改正大綱には盛り込まれず、今春の消費税が5%から8%に変更のタイミングには間に合いませんでした。今後、消費税は更に10%に上がる事を考慮しますと国内事業者は海外事業者と比較し価格競争上著しく不利な状況におかれてしまいます。

このような背景から、音楽配信事業者の皆様にも、問題点・これまでの活動・今後の活動について、ご理解を深めていただく目的で「一般社団法人音楽電子事業協会」及び「一般社団法人日本レコード協会」の共催で「音楽配信流通事業における公平な課税適用を求めるフォーラム」を、「公益財団法人 文字・活字文化推進機構」「海外事業者に公平な課税適用を求める協議会」「インターネットサービスにおける公正な消費税課税を求める連絡会」に後援をいただき2014年3月11日に日本教育会館にて開催いたしました。

当日は、AMEI佐々木副会長の挨拶に始まり、一般社団法人日本出版インフラセンター専務理事永井翔一様より「これまでの活動 及び 政府の動向」の説明の後、青山学院大学教授であり、政府税制調査会専門委員会委員でもあります三木義一様より「海外事業者における消費税課税問題」についての講演がありました。

講演は、「消費税の課税の原則」に始まり「内外判定に関する関連条文」の説明を経て「EUでの対応事例紹介」「今後の課題・対応策」など。この問題について幅広く分かりやすい内容でした。

最後に、一般社団法人電子出版制作・流通協議会事務局長川崎誠一様より4月10日に開催予定の「海外事業者に公平な課税適用を求める緊急フォーラム」の案内がなされ会は終了いたしました。

上記緊急フォーラムは、

- ①国内世論喚起の総決起の場とする
- ②消費税増税のタイミングで国民、マスコミの関心が高い中で開催する
- ③OECD消費税グローバルフォーラムへの意見反映ができるようぶつける
- ④「問題」指摘から具体的な制度論への転換を図るを目的として国会議員による国会報告や海外事業者への消費税課税問題のより突っ込んだ提言がなされる予定となっています。又、緊急フォーラム終了後の記者会見も予定しています。

2014年12月の「自民党税制調査会の大綱」「平成27年度政府税制改正大綱の閣議決定」に本問題が盛り込まれるよう活動を強化してまいります。



AMEI 岩崎修三専務理事



AMEI 佐々木隆一副会長



出版インフラセンター
永井翔一専務理事



青山学院大学法学部
三木義一教授



電子出版制作・流通協議会
川崎誠一事務局長

AMEI Association of Musical Electronics Industry

【開催趣旨】
日本における音楽配信市場の健全な発展が期待されるなか、海外事業者が日本でサービスを行うにあたり、日本の事業者と、公平な消費税課税適用が必須であると考え今回のフォーラムを開催いたします。

【日時】2014年3月11日(火曜)16時00分~17時30分
【場所】日本教育会館9階第5会議室(住所:東京都千代田区一ツ木2-6-2)

【フォーラムの内容】
(1) 公平な課税問題に関わるこれまでの活動と政府の動向について
講師:永井翔一(日本出版インフラセンター専務理事)
(2) 海外事業者における消費税課税問題
講師:三木 義一(青山学院大学教授)
(3) その他、会場の関係者との意見交換

■ 参加申込書をダウンロード ■

東日本大震災、並びに福島第一原子力発電所事故により
被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。
被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

会員名簿

50 音順 2014 年 5 月 15 日現在

あ	す	ふ
● Apple Japan 合同会社	● 株式会社ズーム	● 株式会社フェイス
● 株式会社アムタス	● 株式会社鈴木楽器製作所	● 株式会社フェイス・ワンダワークス
い	● 株式会社スリック	● 株式会社フットレック
● 株式会社インターネット	せ	へ
え	● セイコーインスツル株式会社	● ベスタクス株式会社
● 株式会社エクシング	● 株式会社セガ	み
● 株式会社エムティーアイ	た	● ミュージックノート株式会社
か	● 株式会社第一興商	や
● カシオ計算機株式会社	● 株式会社タムラ製作所	● ヤマハ株式会社
● 株式会社河合楽器製作所	て	● 一般財団法人ヤマハ音楽振興会
く	● ティアック株式会社	● 株式会社ヤマハミュージックメディア
● クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	と	ら
● クリムゾンテクノロジー株式会社	● 東映ビデオ株式会社	● 株式会社ラグナヒルス
こ	● 株式会社ドワンゴモバイル	り
● 株式会社コルグ	● (有) 東京堀田制作集団	● 株式会社リットーミュージック
さ	な	● 株式会社リムショット
● 株式会社サイバード	● ナクソス・ジャパン株式会社	ろ
し	に	● ローランド株式会社
● 株式会社シーミュージック	● 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・	〈正会員会社 43 社〉
● JVC ネットワークス株式会社	日本工学院八王子専門学校	
● 島村楽器株式会社	● 一般社団法人	* 賛助会員
● 学校法人尚美学園	日本シンセサイザープログラマー協会	● 中音公司 (中華人民共和国)
● 株式会社シンクパワー	は	● 株式会社博秀工芸
	● パイオニア株式会社	● 株式会社ミュージックトレード社
		〈賛助会員会社 3 社〉

AMEIホームページ Topページの構成・デザインを リニューアルしました。

「シンプルに判りやすく」をモットーに、改定中です。
ご意見・ご要望等ございましたら事務局までお寄せ下さい。



平成26年 7月1日(火)

平成26年 経済センサス-基礎調査 商業統計調査

MIDI LICENSE MIDI 検定指導者認定講座実施のお知らせ

MIDI検定 4 級指導者認定講座 受講資格: MIDI検定2級ライセンス保持者
実施日程: 東京会場 5月18日(日) / 大阪会場: 5月25日(日)

MIDI検定 3 級指導者認定講座 受講資格: MIDI検定4級認定指導者
実施日程: 東京会場 7月20日(日) / 大阪会場: 7月27日(日)

MIDI検定 2 級指導者認定講座 受講資格: MIDI検定3級認定指導者
実施日程: 東京会場 9月21日(日) / 大阪会場: 9月28日(日)

AMEI NEWS Vol.53 / 2014.5.15
一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌
発行: 一般社団法人音楽電子事業協会 事務局
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-16-9 イトービル 4F
TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549
発行人: 岩崎修三
編集人: 石黒士郎 (広報委員会)
編集協力: 株式会社 博秀工芸
ホームページアドレス: <http://www.amei.or.jp/>